

県議会活動
レポート
2011年夏号



成田セイリウ

滋賀県議会議員

プロフィール

民主党・県民ネットワーク所属
1974年8月15日 大津市生まれ
唐崎小、唐崎中、膳所高等学校
龍谷大学法学部政治学科卒業
同志社大学大学院総合政策科学研究科修士
滋賀県議会議員(大津市選挙区)
文教・警察常任委員会 副委員長 委員
温陽化・流域治水対策特別委員会 委員長
民主党滋賀県総支部連合会 青年局長
大津市消防団唐崎分団 団員
唐崎学区体育振興会 常任理事
唐崎学区スポーツ少年団 事務局長
大津子ども環境探偵団エコーリーダー
滋賀県トランポリン協会 会長
社団法人大津青年会議所 理事

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎1-3-9
TEL&FAX: 077-578-8913
メール: mail@narinari.net
オフィシャルサイト: www.narinari.net

ごあいさつ

四月十日執行の滋賀県議会議員選挙において、二期目の当選を果たすことができました。多くの皆様からの、ご意見を頂きながら、滋賀県政の様々な課題に対して、これまで以上に調査研究を重ね、議論を行って参ります。そして、安心安全の滋賀、子どもや若者が夢や希望の持てる滋賀を築いていくために、粉骨砕身努力します。

六月定例会が、七月十九日まで行われました。今回の定例会で、二期目最初の一般質問を行い、「災害対応と防災対策について」一問一答方式にて質問を行いました。この質問に先立ち、東日本大震災において被害を受けられた福島、宮城、岩手、茨城を回り、各地の課題となっている事象を調査研究しました。滋賀県の防災力向上のために、質疑を行いました。

現在、防災だけではなく、教育、環境をはじめとするさまざまな課題が山積しております。元気な滋賀を築くべく、頑張ってまいりますので、引き続きのご指導・ご鞭撻宜しくお願い致します。

滋賀県議会議員 成田政隆

被災地を調査

南相馬市副市長と要援護者名簿の活用表態や原子力対策について、意見交換を行う。



南相馬市では、20kmはすべて立ち入り禁止に。地域防災計画原子力災害編の抜本的見直しが必要。



警察による捜索活動。滋賀県からも県職員・警察・消防、自衛隊等多くの方が被災地に。



災害ボランティア活動で、廃棄物の分別作業。災害廃棄物に対する取組みの重要性を表感。



津波による甚大な被害。大規模災害に備え、避難所の選定、運営マニュアルの整備等、再点検が必要。



液状化により業務を停止している水戸市役所。災害時にも行政機能を維持しなければならない。

災害対応と防災対策について



▼成田

大津市においても、地域防災計画の原子力災害対策編を策定する場合は、県の計画と整合性を図る必要があるが、県の地域防災計画の見直しは福島の事故を受けて、どのように進められるのか？

▼知事

地形や気象条件などにより、放射能の拡大が起きるといった状況を踏まえて、科学的なデータを用いたシミュレーションを行い、避難区域を設定するなど実効ある計画にしていきたい。予備的な空間、被害が起きたときの科学的なデータを含めた形でより実効性のある防災計画を作り上げていきたい。そのためにも、市、町と協力して情報共有をしていくことが何よりも大切だと考えている。

▼成田

危機管理センターの機能をどのように整備しようとしているのか？

▼知事

三点の機能が重要。①耐震強度やライフラインを確保するという、大変基礎的な物理的条件、②オペレーションルームなどの諸空間の確保や対策を決定、実施するための情報収集伝達等の機能の充実、③地域防災力の向上を図るため、県民のみならずの防災、減災体験や交流、研修機能も必要と考えており、検討委員会を検討中である。

▼成田

災害対策編のBCP(業務継続計画)の内容と策定期間は？

▼知事

災害対応業務はもとより大規模災害の発生時においても休止することのできない通常業務があり、それを行うにあたって、必要な職員の割り振りや電源等のライフラインの確保に関する全体的な方針を示したものを考えている。全体的なBCPを示した後、各部署における部署版BCPを策定することで、業務執行体制を確保していきたい。今後、支援業務の状況等を踏まえながら、早期の策定を図ってまいりたい。

▼成田

さらなる災害ボランティアの拡大に向け、例えば、滋賀県立大学の学生にボランティアに対する単位の認定等もできないか？

▼知事

県立大学では、東日本大震災に伴う学生のボランティア活動の単位認定について、現在検討中。学生がボランティア活動を行うことは、復興支援はもちろんのことで、学生自身の成長にもつながり、万一の時の地域貢献にもつながるものと大いに期待している。(※七月五日ボランティアに単位決定)

▼成田

被災後の災害廃棄物の対応に関して、どのように考えているのか？

▼琵琶湖環境部長

災害廃棄物の処理に関しては、市町が地域防災計画に基づき行うこととされている。県としては、市町に対して、災害廃棄物の集積所の確保や適正な管理等につきまして助言を行うとともに、必要に応じて周辺市町等に処理の応援協力を要請するなど広域処理の調整を行うこととしている。

▼成田

障がい者や外国人をはじめとする方々も含め、要援護者支援の重要性を今回の震災であらためて、実感した今、滋賀県として、今後どのように、要援護者対策を行っていくか？

▼健康福祉部長

県としては、市町がこの名簿をもとに、災害弱者と呼ばれる高齢者や、様々な障害をもつ方たちが、災害時に円滑に避難できるよう、どのような支援が必要で、誰が担うのかなどについて、地域住民や民生委員、福祉保健の専門職が、日頃から情報共有ができるよう働きかけるなど、市町とともに災害時の要援護者支援体制の充実強化に努めていきたい。

▼成田

地震と水害、地震と新型インフルエンザ、二つ以上の危機対応事案が起こるかもしれない。ダブルハザードへの対応は？

▼知事

本県でも、台風のさなかに地震が発生するなど、災害が複合する事態への備えが必要であると認識をしている。県としても、原子力災害も含めて、最悪の事態を想定することによって、ダブル、トリプルが起きても人命を失わない防災対策が重要であると考えている。

成田セイリウ 活動アルバム



カヌーで、ヨシ帯に(自然家族事業)



ブルーギルを8匹釣り、回収ボックスへ



大津子ども環境探偵団 下水探偵(合流式下水道施設)



市課題に対する知事との懇談(市民ネット21の皆様と)



小学校の生き方プロジェクトの授業にて議員の仕事を紹介

●みなさまへのお願い 滋賀県・大津市に関するご質問、ご意見をお寄せください。また、活動や報告についてのご意見、ご感想もお待ちしております。定期的に県議会活動レポートを送付いたします。ぜひともご参加ください。